

大空間暖房装置に注力

そのた
め、熱源が
いらず、暖
房コストは

「大空間向けの独自の暖房システムが好評を得ている」と話すのは、養



鶏用オートメーションシステムの研究・開発などを手がけるハイテム(本

ハイテム社長 **安田 勝彦さん**



社各務原市テクノプラザ
三、電話0588・3885

・0505)社長の安田勝彦さん。ヒヨコの暖房設備開発のノウハウを応用して、工場や体育館など天井が高くて広い「大空間」や、屋外スポーツ施設など「開放空間」向けの「セラミックガス噴射暖房システム」を展開している。

「ハイテムサンシャイン暖房システム」と名付けたこの暖房システムは、人や物に触れると直接熱エネルギーにかわる赤外線を利用して、空間を効率良くあたためる。

地元企業の導入拡大へ

従来よりも三―五割削減につながるという。「風が吹かないので、快適でクリーンな環境を保つことができる。地元の有効企業の生産現場にも多数、導入してもらっている」と、自信をのぞかせる。

実は、暖房システムは十年ほど前から取り組んでいるが、これまではダイレクトメーラーやホームページなどで地道に営業してきた。今後は、「FC(フランチャイズ)方式で、ガス機器の販売会社などを通じて広げていくつもりだ」と、事業拡大に意欲をみせる。

(岐阜)